

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2372800447
法人名	社会福祉法人碧晴会
事業所名	グループホーム川口結いの家
訪問調査日	平成19年 9月28日
評価確定日	平成19年11月12日
評価機関名	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会施設福祉部

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

【評価実施概要】

事業所番号	2372800447
法人名	社会福祉法人碧晴会
事業所名	グループホーム川口結いの家
所在地	愛知県碧南市川口町1-178-1 (電話) 0566-46-5217
評価機関名	愛知県社会福祉協議会 施設福祉部
所在地	名古屋市中区丸の内2-4-7
訪問調査日	平成19年9月28日

【情報提供票より】 (19年9月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	17年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計 9 人
職員数	8 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有 (円)	<input checked="" type="radio"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> 有 (50,000 円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有 / <input checked="" type="radio"/> 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	950 円	

(4) 利用者の概要 (9月28日現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	2	要介護2	3
要介護3	4	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 85.6	最低 79歳	最高 101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	作塚杉浦クリニック、新川中央病院、京ヶ峰岡田病院、井上歯科医院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームの管理者をはじめ職員は、法人の理念を基にグループホームとしての理念「もう一つの我が家」を理解し、日々のケアを実施している。入居者は穏やかな表情で、その人らしくそれぞれの思いで暮らしており、調理や洗濯物たたみ、食料品の買い物やゲートボールへの参加など外出している。玄関から「ただいま」「おかえり」の声が聞こえ、暖かい我が家の雰囲気である。180人の地域ボランティアによる協力で、夏まつりを楽しく運営できたことや、老人クラブでのゲートボールへの参加等、地域の一員として地元との交流を進めており、職員の「見守る」ケアは高く評価できる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 改善の取り組みとして、地域への啓発のためにホームページを立ち上げ、その普及に努めている。地域周辺から協力を得るために、運営推進会議に市職員や民生委員、家族の方に多く参加していただき、たくさんの意見をホームの運営に反映している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価の意義を理解し、全職員が自己評価票を記入し、ニーズの把握や日常の支援について客観的な自己評価を行い、業務改善とケアサービスの向上に向けてミーティングで確認し、支援している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議のメンバーは、家族の代表者1名の出席であったが、今年度から参加できる家族全員が参加するようにしている。毎回5~6人の参加があり、1家族2名の参加もある。また、職員も参加し、会議での意見交換や要望を聞く体制を作り、ケアの改善に生かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 入居者の暮らしぶりや預かり金の出納帳やホーム新聞を毎月の請求書送付時に同封し、家族に報告している。面会時や運営推進会議の場において、家族の意見をきくようにしている。事業所内及び第三者による苦情相談窓口を設置している。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区の自治会に加入し、地域の行事に参加している。法人の夏まつりでは、地域のボランティアが180人参加し、企画から運営までグループホームと一緒に協力して、盛大に実施したことや老人クラブでゲートボールへ参加するために、見学から始め、今は楽しんでゲームに参加するなど、地元との交流を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念以外にホームの運営方針を掲げ、身体拘束や不必要な規制なく、入居者の今までの生活が継続できるように当たり前の生活が当たり前に過ごし「人として生活する」ことができるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をスタッフルームや玄関に提示し、管理者と職員は、理念を共有するため話し合い、意思統一を行っている。また、法人全体の朝礼で理念の唱和をする事で、法人全体で理念の意思統一を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	外部評価で地域への啓発についての改善点で、ホームページを立ち上げ、その周知方法の工夫を行っている。地域での行事に参加できるように、計画をたて、外出などを行っている。老人クラブのゲートボールに参加したり、法人の夏祭り等を通じて地域の人や地域ボランティアとの交流も図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果は、ミーティングで報告し、業務改善に向けて検討し、ケアサービスの向上を目指し、感染症のマニュアル作成や手洗いの徹底等、実践につながるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度から、運営推進会議と家族会を同時開催とし、年6回奇数月に開催している。入居者やサービスの実態、評価への取り組み等を報告すると共に、多くの家族が参加し、意見や要望を聞く機会とし、サービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム運営について、市役所の窓口に出かけ、担当者に相談し、ケアサービスに取り組んでいる。また、市役所担当者からグループホームの運営について相談や助言を行っている。認定調査の申請時には、入居者と一緒に市役所の窓口へ出かける等連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書の送付時に、預かり金の出納帳やホーム新聞を同封し家族に報告している。人事異動についても、ホーム新聞に記載すると共に、家族会や運営推進会議において報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議の場において、家族の意見を聞くようにしている。事業所内の苦情相談窓口以外にも第三者による苦情相談窓口を設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者や家族への信頼関係を築くために、馴染みの職員が対応することが重要と考えており、職員の健康状態など以外は異動を必要最小限にする方針を掲げている。職員の補充はグループホームに適した人材を当てるように取り組んでいる。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	平成19年度は、半年間月1回特養において、外部講師を招いて定期的に学習会を開催し、グループホームの職員も参加している。また、各委員会の勉強会に毎月参加している。OffJTではグループホーム協会の研修に参加しているが全職員ではない。研修の参加については有給休暇扱いとしている。	○	法人は研修の重要性を認識し、法人内外の研修参加について、出張として受ける機会の確保をすると共に、職員全員が受講しやすいような取り組みの検討が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会に加盟し、協会の委員会活動や3ヶ月毎に開催される西三河の相談委員会等に参加し、意見交換を行っている。また、職員も研修会参加等により同業者との交流を図ると共に、相互訪問の活動をとおしてサービスの質の向上を目指している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所や併設施設のサービス利用中に数時間グループホームに遊びにきてもらい少しずつ慣れてもらう配慮や、入居前に本人にグループホームの実際の場面を見学し、サービスの利用を始めるようにしている。また、家族も泊まることのできるため、入居当初家族が泊まるなど行い、グループホームの環境に馴染む取り組みもしている。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、家事全般において入居者と一緒に行うことを重視し、出来ない部分のみ支援することで「介護される」という一方的な立場にならないよう配慮し、共に支えあえる関係づくりに留意している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、ニーズの把握に努めている。言葉や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。入居後見出された残存能力も多い。家族には面会時に希望や意向を聞くようにしている。話し合いで情報をスタッフ間で共有し、本人主体の生活を支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。センター方式を取り入れた介護計画を作成し、事前調査を含め、職員全員で意見交換や観察や話し合いを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が情報を確認し、家族や本人の要望を取り入れつつ、期間が終了する3ヶ月に1回話し合いを行い、ケアプランの見直しを行っている。状態変化時についても、計画変更を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設の行事の参加や、看護師の協力など体制面でのバックアップが整っている。ホーム独自では通院や外出支援、介護保険に関する行政手続きの代行など柔軟に対応している。また、医療連携体制による24時間の医療面に関する強化も図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にはホームの主治医に月1回の訪問診療を受けている。本人や家族が希望するかかりつけ医の受診にも対応している。眼科や歯科、その他総合病院へも家族の協力も受けながら受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する対応は、ホームとして対応指針を作成し、家族、職員を交えて話し合いを行っている。また、状況の変化があるごとに、家族の気持ちの変化や本人の思いに注意を払い支援につなげている。指針に基づいてターミナルケアを行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録や個人情報に関しては、介護保険法や個人情報保護法に基づいて取り扱っている。入居者への日々の関わり方については、利用者のプライバシーや誇りを損ねない対応を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでは、基本的な1日の流れは持っているが、タイムスケジュールは作っていない。入居者個々の生活スタイルを基に、一人ひとりの体調や希望に配慮しながら、本人の気持ちを尊重して、個別の支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の昼食は、入居者と一緒に広告を見ながら、メニューを考え、入居者からの希望を引き出す機会を作っている。準備や片付けはその人の得意なことを見極めながら、切る、盛り付ける、配膳する等入居者と一緒に行い、職員も同じテーブルで食事をし、介助を要す入居者にはさりげない介助に努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	木製の風呂で温かい雰囲気である。入浴は、希望により毎日入ることができ、入居者のその日の希望を確認して入っている。基本的には、1人の入浴であるが、入居者同士で一緒に入ることで、歌を唄って入浴するなど楽しみながら入浴することもできる。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片付け、洗濯干し、たたむこと等、個々の力を活かした役割が持てるよう支援している。生活歴や力を活かした役割について、家事作業を中心として役割を発揮していただくよう場面を作っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1日2回買い物に出かけたり、地域の美容院へ行ったり、ゲートボールへの参加など日常的に行っている。買い物についてはチェック表を作成し、1週間に1回は全ての入居者が外出できるように配慮し、支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームでは玄関に鍵をかける事も身体拘束と捕らえ、自由に出入りできるようにしている。玄関は開くと音が鳴る構造にしてあるため、外に出る入居者は、極力一緒に散歩するようケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災に対しての避難訓練は夜間の想定も含めて消防署や特養と合同で行ったり、ホーム独自でも行っている。地震の訓練については実施していない。また、近隣住民への協力については今後の課題となっている。	○	運営推進会議等の場において、災害に関する近隣住民への協力要請について検討する事が望まれる。また、非常食等備蓄品などの準備についてグループホームとしての供えの検討が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算は行っていないが、1日30品目の摂取に心がけ、食事や水分の状況を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している。定期的に管理栄養士の専門的なアドバイスは受けていない。	○	栄養摂取状況については、大まかに把握しているが、管理栄養士の専門的アドバイスを定期的に受けられることが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースと一体となった台所や、食事の匂いや音など直接入居者に感じてもらえるよう生活感を感じられるよう配慮されている。一人で過ごせるような場所で作るためにも置くことも検討している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットやタンス等の家具は持ち込みとなっているため、使い慣れた物でなじみの空間が確保できるよう配慮している。また、入居後も必要な物を本人、家族に相談しながら本人が生活しやすく安心できる空間の確保に努めている。		

※  は、重点項目。